

令和3年度第2回国有林モニターアンケート（結果概要）

東北森林管理局では、開かれた「国民の森林」の実現に向け、国民の皆様のご意見やご感想を適確に把握し、それらを反映した管理経営を推進するための取組の一つとして、国有林モニター制度を設けています。

この度、令和4年2月に、令和3年度第2回国有林モニターアンケートを実施しましたので、その結果概要についてお知らせします。自由意見等については、抜粋・整理して掲載しております。

今回アンケートにご協力いただきました国有林モニターの皆様に、厚く御礼申し上げます。

○アンケートの実施概要

発送 : 令和4年1月31日
回答期限 : 令和4年2月21日
回答率 : 54% (48人中26人)

国有林モニター制度とは、アンケートの実施やモニター会議の開催等を通じて意見を伺うほか、広報やパンフレットで情報提供を行うなど、国民の皆様と国有林との間で、双方向の情報受発信を行う取組です。

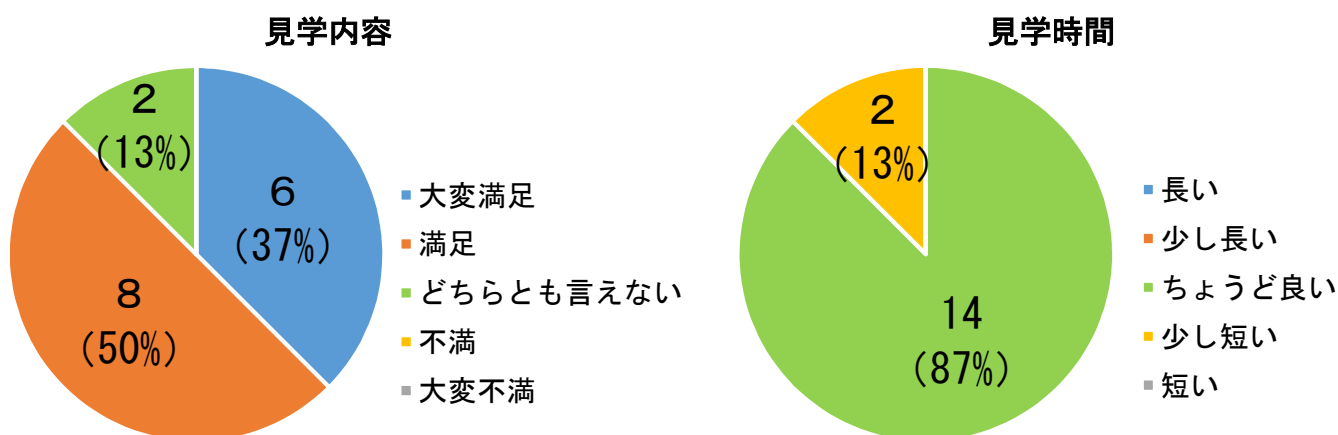
現在、令和2年4月～令和4年3月の2年間を任期として、管内5県の48名の方に国有林モニターとして活動していただいております。

1 現地見学会・モニター会議について（参加者のみ）

令和3年10月29日に令和3年度国有林モニター現地見学会・モニター会議を開催し、25名の方に御参加いただきました。

（1）現地見学会について、教えてください。

〈健全で多様な森林づくり〉



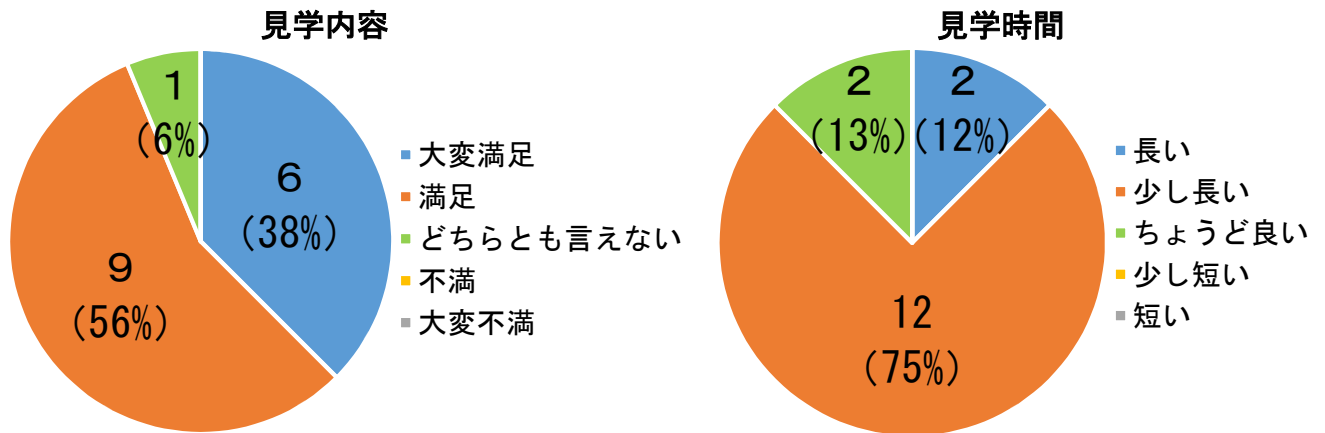
【ご感想】

- ・ 計画的に森林づくりが行われていることが良く理解することができた。ただ、規模も大きいことから、運営には困難が伴うのではないかと感じた。
- ・ 初めて知った取組だった。「現地に合わせてより良い森林づくり」と理解したが、少し取組の目標がハッキリしなかった。例えば、山崩れ等が想定される箇所は自然林、東斜面、西斜面にはそれに適する森林として取り組んでいるなど。
- ・ 現地の特性に合わせて、景観を考慮しての（憩いの場）取組もお願いしたい。
- ・ 森林にも色々な種類があることを知った。目的に合わせて森林管理を考えなければならないのだと感じた。
- ・ 人工林だけでなく自然再生林にも力を注いでいることに感心した。
- ・ 前人の経験を活かした計画と実践が行われていることが感じられる。
- ・ 自然な状態の森林が望ましいが、その維持管理の為には人の知恵と手（作業）が必要と理解した。
- ・ 内容等についてわからなかったが、健全でない森林、健全な森林があるということ、だいたい理解できた。
- ・ 適地・適材による森づくりを進める考えに納得できた。単純で画一的な造林から針広混交林へ誘導し、自然な形の森づくりを進めてほしい。
- ・ 公益林と経済林の進め方について大いに期待している。
- ・ 森林をきれいに保っていくのは、大変なことだと感じた。自然のものだからと

いってほったらかしにはできないことがわかった。

- ・ 適材適所な森林づくりで一般の方にも知ってもらうことで変わっていくように思う。

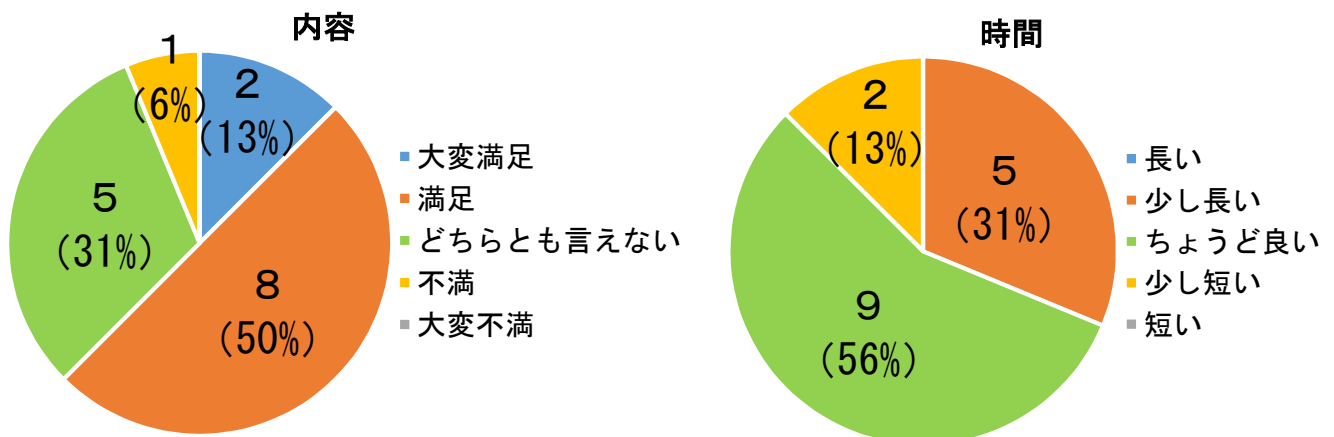
<ドローンの活用>



【ご感想】

- ・ 新技術を活用し、効率的かつ正確な森林管理が出来るということを目の当たりにして、今後も普及・拡大することが出来れば良いと感じた。
- ・ 作業時間の短縮により業務効率アップと人件費の削減、更には安全性も向上している事は素晴らしいと感じた。
- ・ 森林の現況（成長度合、山崩れ、面積の測定等）把握において、多くの労力を要する作業の省略化、正確化に向けた有効な取組を感じた
- ・ 昔の作業に費やす労力（時間、体力など）を考えると最新技術を利用すべきだと考えた。
- ・ 歩くことによる状況把握も重要だが、危険を伴う状況下も予想されるので、観察等にも十分生かせる事例だと思う。
- ・ 国有林野事業の推進の為にも必要と思う。
- ・ アプリケーションに対するハードの機能が貧弱すぎると感じた。
- ・ ドローンは性能、利用範囲とも目覚ましいスピードで利用拡大されている。林業や治山工事においても大いに導入して効率化に努めてほしい。
- ・ もっと若い人を活用、機械化を図り働きやすい環境を作ってほしい。
- ・ これまでは空から見た林形が分からず、多くの人数をかけて森林調査等をしてきたが、ドローンでの技術により変わるのは良いと思った。しかし、実際に導入する際の費用や技術については課題が多い。普及して頂けるようお願いする。

(2) モニター会議の内容について教えてください。



【理由】

- ・ 様々な立場の方から森林に関する意見を聞くことができ、大変参考になった。
- ・ 前半は内容が専門的で知識の高い内容が多く、発言が出来なかった。
- ・ 全体では少し人数多いのでは。グループ分けしてテーマを少し分けて、提案して全員が多く発言する工夫も必要ではないか。
- ・ 民有林の管理をどうすればよいか悩んでいる人が私以外にもいるのだと感じた。
- ・ 山を個人的に所有している人が多く色々な意見があり参考になった。
- ・ モニターの皆様のご意見を聞いていると実に「森林行政」に対する要望や「日本の森林」の課題が知ることができてとても有意義だった。
- ・ 参加された個々人の課題、これからの森林管理を期待する声もあった。
- ・ 東北5県の方々と話ができ良かった。
- ・ モニター全員参加出来ず、残念。
- ・ 話し足りないところがあった。

【ご感想】

- ・ 初めて森林経営の現場を拝見することが出来、大変参考になった。モニター会議については、もう少し時間があつたほうが良かった。
- ・ モニター会議は全員のコメントではなく、代表者コメントでも良いのではないか。
- ・ 仕方がないことだが、移動が多いことが大変だった。
- ・ 混合林の植生をみる事が出来てとても感動した。モニターの皆様のお話を聞いて、それぞれの地域で抱えている課題を知る事が出来てよかった。
- ・ 国有林の維持管理も十分大事であることは理解しつつ、ぜひ民有林との連携強化施策に入れていただきたい。
- ・ 直接、治山事業の現場で活動している方の生の声も聞けたらいいと思う。

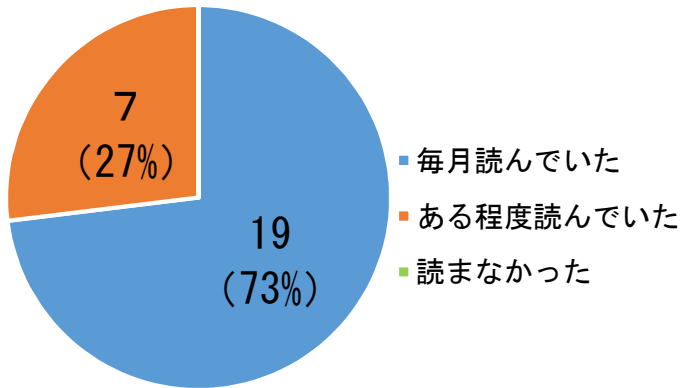
- ・ 年度計画としての“テーマ”を決めて見学会・モニター会議を進めることが大切だと考える。
- ・ 秋田は秋田だけ、県内の人を対象にした見学会にした方が良い。
- ・ 現場見学の前に座学（バス車中でも）が必要と感じた。特にドローン活用は新しい技術であり、現地で急に案内されても・・・。
- ・ コロナで思うように参加出来ず残念に思っている。また機会があれば参加したい。
- ・ これからも色々な場所を案内していただきたい。関係者しか入れない所はわくわくする。説明が終わったあと、景色をみたり写真を撮ったりする時間があるといいと思う。

2 毎月の送付資料について

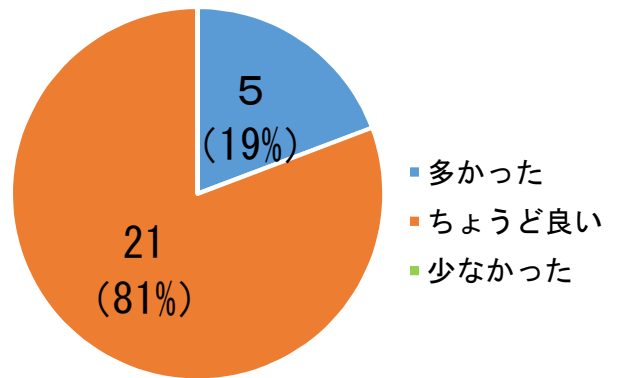
(1) 毎月お送りしている資料について、ご意見をお聞かせください。

<今月の特集>

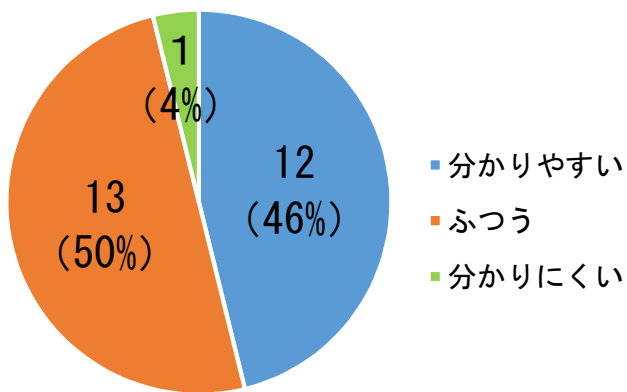
①資料を読む頻度



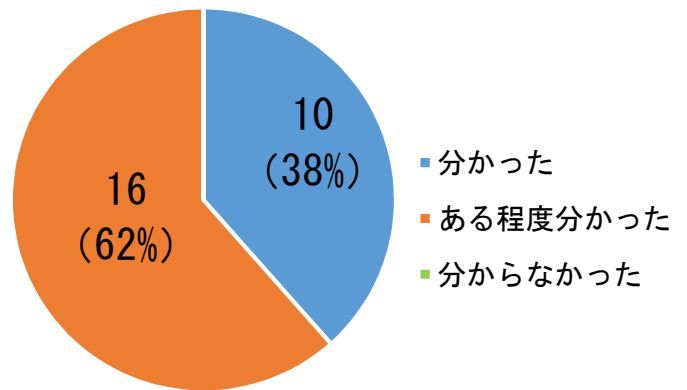
②分量



③内容の分かりやすさ

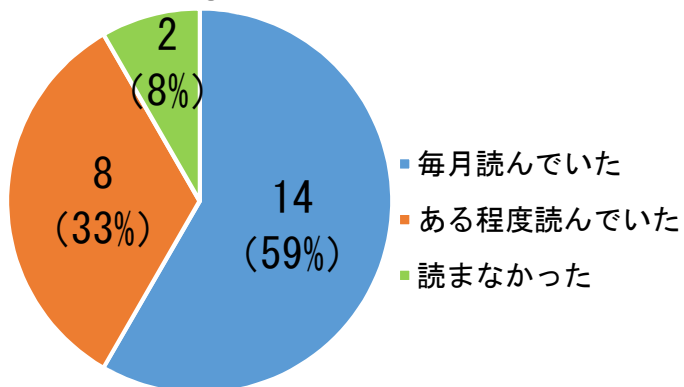


④国有林の取組

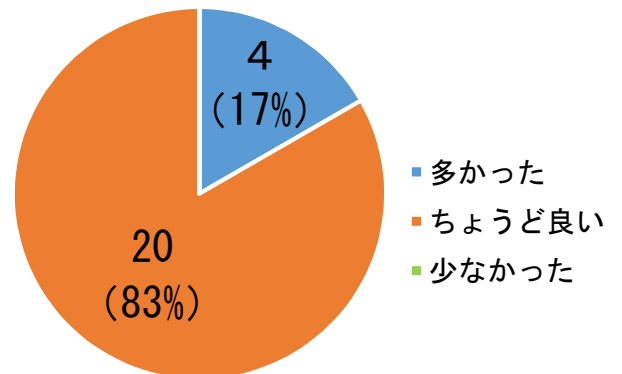


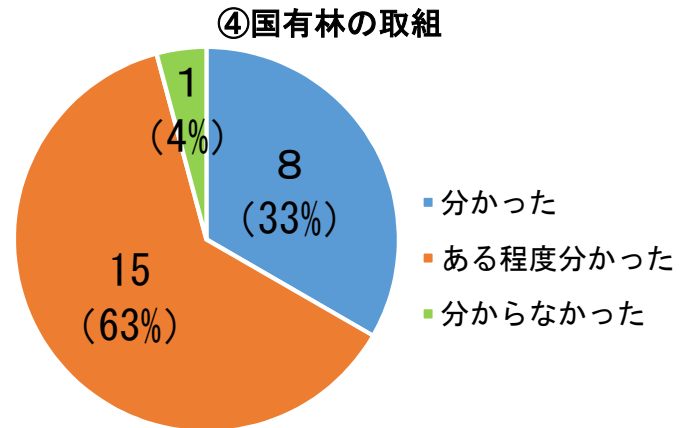
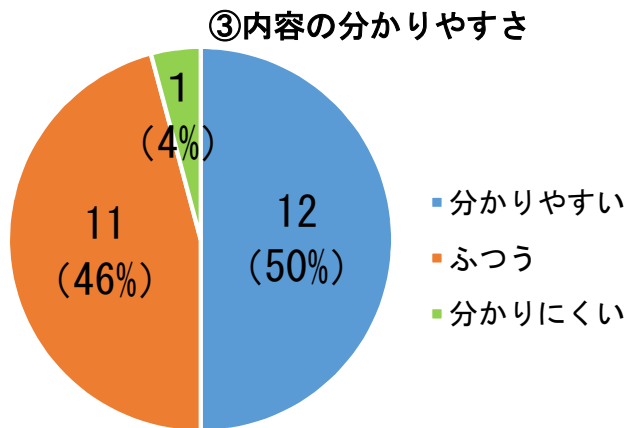
<質問への回答>

①資料を読む頻度



②分量





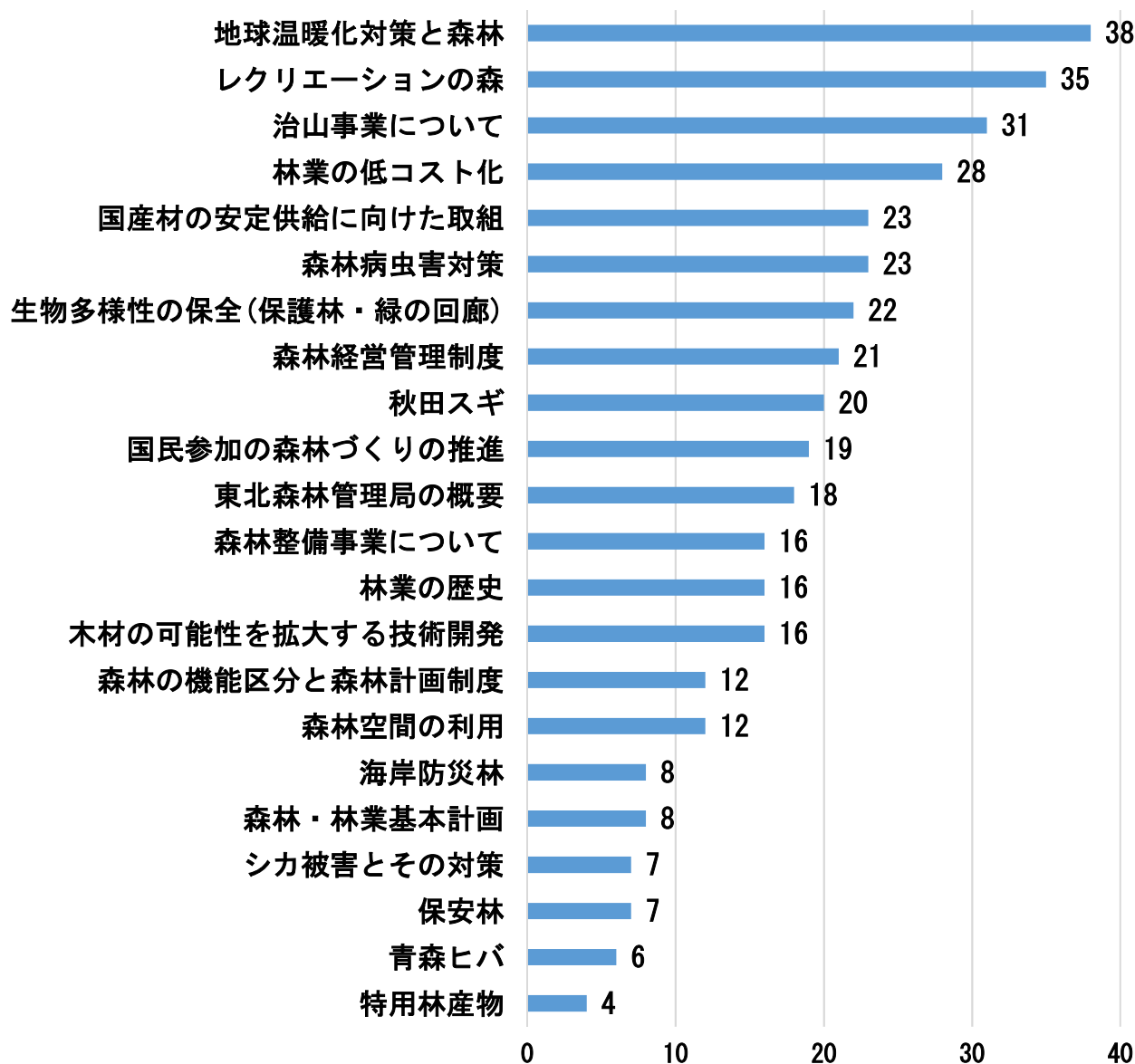
②これまでの送付資料で、改善すべきだと思う点があれば教えてください。

- ・ 読むのが大変なので隔月でもよいと思う。
- ・ 内容量が多く立派だと思ったが、自分には量が多いと思った。
- ・ モニターによっては情報誌「林野」をペーパーではなくHPで見るという方もいると思うので、モニター募集の際に「送付の要否の確認」など選択できるようにしてもいいと思う。
- ・ 多く発生する災害の状況、進捗など、ページをチョット割ければいいと思う。

(2)「今月の特集」のテーマについて教えてください。

①興味深かったテーマ順に5つ教えてください。

(1位=5点、2位=4点、3位=3点、4位=2点、5位=1点として点数化して集計)

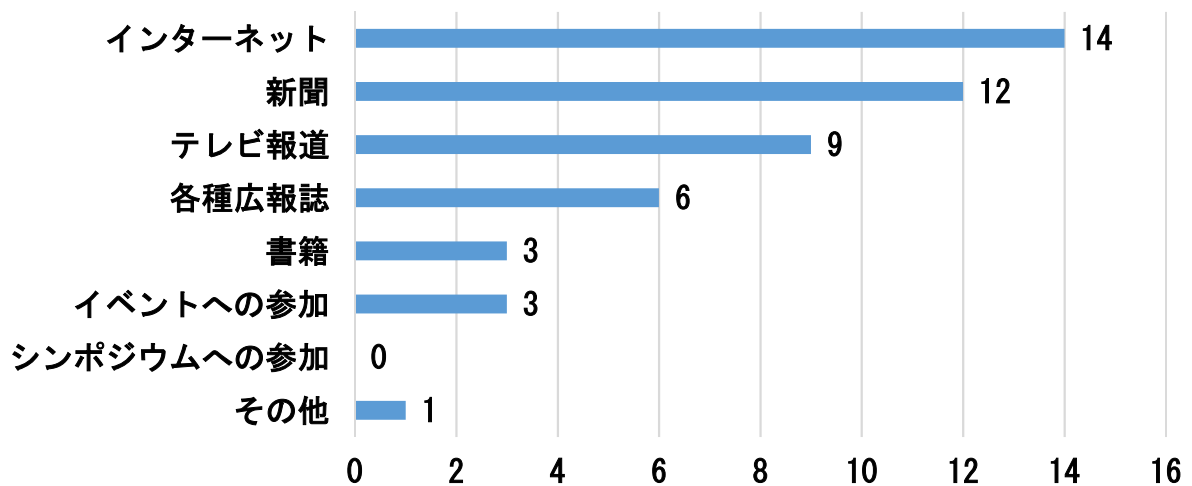


②特集を組んでほしかったテーマ

- ・ 東北における森林鉄道
- ・ 間伐材等を使ったアウトドア分野への展開事例(キャンプ、ツリーハウス等)
- ・ 木の種類や見分け方について
- ・ 地方行政における森林アドバイザーの育成の課題と現状
- ・ 林業家になるには
- ・ 森林維持に関する研修制度、育成計画
- ・ 維持管理の機材の大型化に伴う、委託業者との研修・育成、安全教育

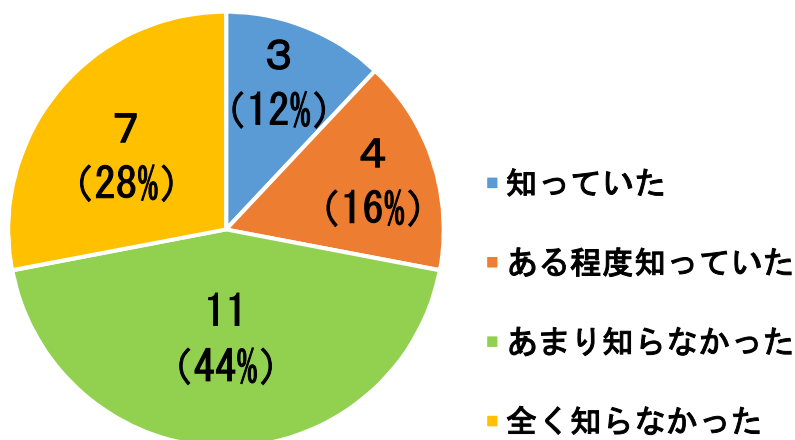
- ・ 宮城県の取り組み
- ・ 林地残材活用
- ・ 輸入材と港、および木場・検疫検査と生態系について
- ・ 国立、国定公園内の森林について
- ・ 登山道とのかかわり、国有林内の山菜等（収穫）のかかわり
- ・ 自然災害の状況、鹿や猪への対応、木材価格の動向など時代・時期にあった話題
- ・ 林業で働く人々の森林への思いなど
- ・ 森林経営管理制度の利用拡大、林業労働災害、小規模経営の取組

(3) 毎月の送付資料以外に、どのような方法で国有林に関する情報を得ていますか。
(複数回答)

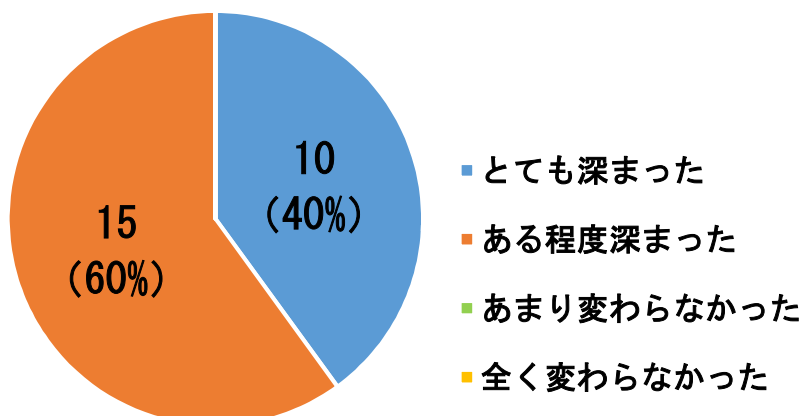


3 国有林モニターについて

(1) 国有林モニターになる前から、国有林の取組についてご存知でしたか。



(2) 国有林モニターになる前と比較し、国有林の取組に対する理解は深まりましたか。



【理由】

- ・ 害虫やシカの被害など心配していた問題点や解決策などを詳しく見ることが出来たのは嬉しかった。
- ・ 毎月様々な資料を届けていただき、広範な知識を得ることが出来た。
- ・ 周辺には山がいっぱいで、わずかですが森林を持っている。でもあまり考えていなかった。今回の事で 山を放置しているので手入れするか今月の特集である制度を利用するかと切実に思っている。
- ・ 森林の木を切り倒しているのは経済だけの為だと思っていたが、治山や環境維持、その他の目的を持って取り組まれている事を知った。
- ・ 国有林を管理する方がきちんと管理して環境を守っている方がたくさんいることを知った。
- ・ 居住地の「森林」の話題が掲載されており、今まではいつもは何も考えずに車で通り過ぎていたのだが、春になったら、入ってみようと思った。身近に存在して

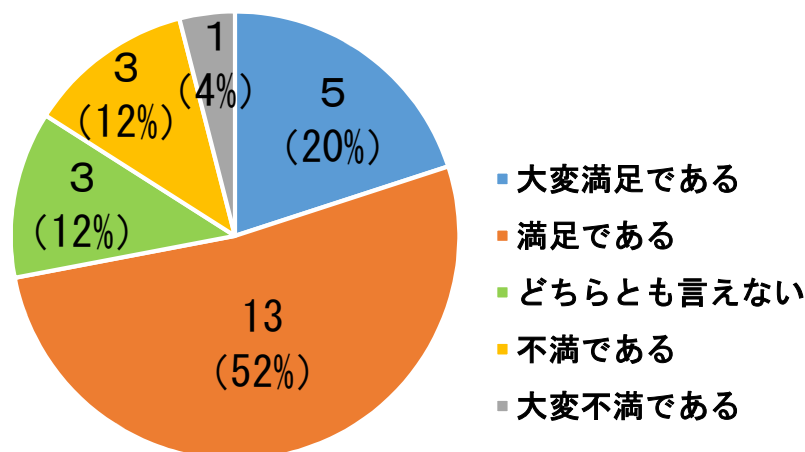
- いる事実を再確認した。
- 面積の多さ（国有林）を知った。よって国有林の使用方法についてはとても重要であると思った。本当に生かされる使い方をしてもらいたいと考えている。なぜなら国イコール国民の財産だから。
- 宮城県丸森町の災害状況を知る上で、治山事業の重要性を理解できるようになった等、参考多々ある。
- 事業内容が多岐にわたるのを知ったので。
- 「日本美しい森お薦め国有林」について初めて知り、日本各地の美しい森を実際に訪れてみたいという思いを強くし、また国有林の維持に関して、自分にどのようなことが出来るだろうかと考えるようになった。以前よりはるかに国有林を身近に感じるようになったと思う。
- 時々、登山や山菜、きのこ採りで山に入ります。個人の山と国有林との違いがよく分かった。
- 分かりやすい資料が多かった。
- より国有林の木材について知ることができ仕事に活かせた。
- 毎月送られてくる林野、みどりの東北、資料を読んでさまざまな取組を知った。
- 地元の森林管理署での「クマ剥ぎ被害状況」防止対策に参加しテープ巻きを実習させて頂いた。R2. 11月「森林計画住民懇談会」に出席させて頂き、署の方々、会議参加の方々のお話を聞いて圧倒され貴重な体験だった。

(3) 国有林の取組に対する要望・意見等

- 森林空間のより多面的な活用について、多様な国民の参画により進めていただきたいと思う。
- 東北森林管理局のホームページをこれからは見ていきたいと思う。
- 管理の困っている民有林の所有者が多いのではないかと思う。市町村と連携し、民有林の所有者に関心を高めていければと思う。
- 地方行政での「森林林業アドバイザー」「森林インストラクター」というスペシャリストの養成がますます必要となると考える。幼い頃からというか若い方がその存在を認知することが大切と思うので、学校への出前授業などをして、森林への興味を持ってもらい、就労先での需要があることを更に知ってもらえたらいいと思う。
- 散策等で親しめる国有林がどこにある等がもっと知ることができたらいいなと思う。
- よく見るグラフだが、“人工林の林齢構成”では、伐期を迎えた戦後の植林による蓄積量が豊富にあるように見えるが、それよりも、その後の林齢の若い、次の世代の森がとても少ないのが気になる。新しい技術、管理で日本の風土に合った林業技術が確立したときに、山に材が充分にないのでは？保全、保護すべき森林とは別に造林を促進し、本来のサステナブルな社会、地球に繋げてほしい。
- 素敵な取り組みをしているので、もっと多くの人に知ってもらえるようにしてほしい。
- 国有林野事業については、当然継続されるべきで、予算の獲得を今以上期待している。
- 山から河川、海と一連の流れの中で、人類の受ける恩恵を大局的なテーマがあれば良かった。治山イコール治水、海洋汚染防止 etc

- ・ 里山が荒れて、手入れがしてなくてかわいそうに思う。
- ・ 昨年、地元の由利森林管理署の計らいで奈曾川流域における治山事業を見学することが出来た。山奥の奈曾川源流でコンクリートブロック谷止工の作業を目にして、自然災害防止に取り組む現場の作業員の努力に感動した。鳥海ダムのPRも大事ですが、このような谷底で行われている地味で目立たない作業を地元の小・中・高生に見せたいと思った。
- ・ 日本の山河を次世代に残してほしい。
- ・ 国有林の素材生産を請け負わせて頂いている。伐採の境について分かりづらい所や生産に向かない危傾斜な所が多く現場作業をしていて危ない所が多い。そのような所もしっかり管理して頂き、森林を守るべく取り組んでもらいたい。
- ・ CO2削減の為に「伐って、使って、植える」を続けて地球環境を守ってほしい。又、CLTのすぐれた木材も国内で多く利用出来る様にとと思う。

(4) 2年間で振り返って、国有林モニター活動はいかがでしたか。



(5) 現地見学会と会議への参加、国有林モニターアンケート以外に、国有林モニターとしてやってみて良かった活動や、モニター活動の改善点があれば教えてください。

- ・ 興味がある人にしかその活動が見えてないところもあると思うのでもったいないなと思った。これからの次の世代がもっと関心が持てるようになってくれたら嬉しい。
- ・ 林野庁主催のイベントやセミナーなどがあれば参加したかった。また、モニターの方の構成がやや林業関係者（私有林の所有者）に寄っていたイメージを会議に出席して感じたので、林業関係者とそれ以外の方にモニターを分けるということも良いのかもしれない。
- ・ 国有林モニターとして2年間、関わらせて頂いたのですが、毎月の資料を流し読みするだけで終わっていた。
- ・ 下刈や伐採をやってみたい。
- ・ コロナの事で楽しみにしていた見学会と会議に参加出来なかったのは、とても残念だった。参加者がたくさんいたことに驚いた。
- ・ 現地見学会への移動時（車内）の有効活用。
- ・ 地元の森林管理署でボランティアやお手伝いなど森づくりに関わる活動に参加出

- 来る仕組みがあれば良いと思う。(モニターの任期終了後にも参加できるような)
- ・ 民有林とのコミュニケーション。
 - ・ イベントや技術研修があれば尚更良かった。
 - ・ もっと国有林の保護について積極的に参加してみたかった。
 - ・ コロナの時期でなく、健全なときにモニターとして参加したかった。
 - ・ 地元の活動にも参加したい。
 - ・ もっと意見交換会を行いたかった。

(6) 国有林モニターになって良かったと思うことがあれば教えてください。

- ・ あまり大きく報じられない国有林の現状について、多様な資料で学ぶことが出来、大変有意義な機会を頂戴することが出来た。
- ・ 現地見学に行けたこと。林業は大変なイメージがあったが、ドローン活用や多様な取組をされていることが知れて勉強になった。昔の山師、キコリの様子にも大変驚いた。
- ・ 森林を守ってくれている人がいる事、これからの未来のことを考えさせられた。
- ・ 地域の森林に対し、「私有林、国有林」というのが常に身についた。
- ・ 国有林について興味関心が深まった。
- ・ 新しい技術が生まれていることを知ることができたこと、現地見学会で勉強できたことが良かった。モニターになり、これまでよりも森林への愛着、林業への関心が高まった。
- ・ 国有林の森林整備、治山事業を知ることができたこと。
- ・ 身近な里山、公園の木々の健全化を気にするようになった。
- ・ 次の世代にこの大切な資源を残していきたい、そのためには何ができるかを真剣に考えるようになった。
- ・ 林野庁職員の日常に触れることができ、国有林という非日常空間へ年間を通して2回の案内を受けることができたこと。
- ・ 林野庁は国有林や保安林を管理している部署という単純な捉え方をしていたが、冊子林野、みどりの東北を手にしてからとてつもなく重要な仕事をしていることを実感した。「みどりの東北」の我が署の名所は毎号楽しみ。何か所か見学したいと予定を立てている。
- ・ 少しだが、山林に関してのことが分かった。コロナの影響があったので仕方ないことだが、現地見学会にすべて参加したかった。
- ・ より一層森林のことが好きになった。
- ・ 森林の働きが多機能に渡り、人の生活、動植物の生存に直結している部分もあって重要な役割担っていることを知った。情熱を持ってお仕事に取り組んでおられる署の方々にも刺激を貰えた。

(7) 国有林モニター終了後、国有林、森林・林業、木材利用等とどのように関わっていきたいですか。

- ・ 自分ができることがあれば行動したいと思った。
- ・ 定期的にお送りいただいていたおかげで、国有林の現在を知る資料の存在がわかったので、今後も継続してHPなどで情報を収集し、知識をアップデートしていきたいと思う。
- ・ 身近に森林活動があったら参加して行きたい。

- ・ キャンプ等を行うので、間伐材を有効利用する。
- ・ すぐには無理だがサラリーマンを辞めたら、林業に携わるのも良いのではないかと思った。
- ・ 身近な所で森林を大切にしたい。
- ・ 地域の植林作業に積極的に参加していきたい。国産資源である木材を大いに利用していきたい（ペレットストーブのペレット、家屋などの建築として）。
- ・ これからも国有林に親しんでいきたい。
- ・ 去年から地域のNPOの活動に参加して森づくりや間伐材利用（木工）を始めました。今後は更に活動の機会を増やしていきたいと思う。
- ・ また機会があればモニターに参加したい。日常から木と共に生活しているが、もっと木について勉強し、木の特性など知りたい。
- ・ 民有林を維持されている方々の活動に参加を計画している。
- ・ ボランティアとしてイベント参加してみたい。
- ・ 積極的に利用しようと思った。
- ・ コロナ渦による生活の変化やSDGsの流れにより、森林・木材利用について、どう関わっていくかを考えた。まずは、自分自身の生活にもっと木材を用いたものを取り入れていきたいと思う。
- ・ 森林空間の活用をメインに考えている。
- ・ 植樹ボランティアや、クマ緩衝帯の草刈りに参加することと、自分の杉林及び栗園の手入れに取り組む。「伐って、使って、植える」という資源の循環利用に関心を持ち、農業・林業仲間と楽しく付き合っていきたい。
- ・ 地域の人に森林、国有林の活動、話をしていく。
- ・ 冊子で紹介されていた見学可能な所を訪ねてみる。
- ・ 実際に国有林の現場にて働いている。森林のよさ、木材のよさをより多くの人に知ってもらいたい。
- ・ ブナの森温身平に魅せられてセラピーガイドの勉強中なので、多くの方に訪れて頂き、健康維持、増進に役立てられるようにアテンダントして行ければと思う。